

# ＝ 会 告 ＝

## 講演会・見学会等の開催予定

2018年7月20日現在

開催予定 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2018年8月 1日(水)～ 3日(金)	2018年 3月15日(木)	2018年 6月1日(金) 若手奨励賞応募 者は5月7 日(月)	第60回構造強度に関する講演会	徳島市	日本機械学会, 宇宙航空研究開 発機構	構造部門委 員会	66巻7号 会告4頁参照
2018年9月 9日(日)～ 14日(金)	2017年 7月15日(土)	2018年 7月1日(日)	第31回 国際航空科学会議 ペロ・ホリゾンテ大会 (ICAS2018)	ペロ・ホ リゾンテ (ブラジ ル)			65巻5号 会告4頁参照
2018年9月 11日(火)			平成30年度「空の日・宇 宙の日」記念特別講演会	東京都	日本航空技術協 会, 日本航空協 会		66巻8号 会告4頁参照
2018年9月 14日(金)			日本航空宇宙学会 関西支部 第468回航空宇宙懇談 会	神戸市		関西支部	66巻8号 会告6頁参照
2018年9月 28日(金)～ 30日(日)	2018年 4月27日(金) エントリー受 付開始		第14回全日本学生室内 飛行ロボットコンテス ト	東京都	(予定)東京都大 田区, 宇宙航空 研究開発機構, 大田ビジネス創 造協議会	飛行ロボッ トコンテス ト委員会	
2018年10月 16日(火)～ 18日(木)			アジア太平洋 航空宇宙技術国際 シンポジウム2018 (APISAT-2018)	成都 (中国)	CSAA, RAeS Australian Divi sion, KSAS	APISAT 連絡・実行 委員会	
2018年10月 24日(水)～ 26日(金)	2018年 6月1日(金)	2018年 8月6日(月)	第62回宇宙科学技術 連合講演会	久留米市	(予定)宇宙航空 研究開発機構, 強化プラスチック 協会, 生態工 学会, 生命の起 原および進化学 会, 地球電磁気・ 地球惑星圏学 会, 電気学会, 日 本機械学会, 日 本天文学会, 日 本赤外線学会, 日本惑星科学会	宇宙航行部 門委員会	66巻5号 表3頁参照
2018年11月 14日(水)～ 16日(金)	2018年 6月15日(金)	2018年 8月31日(金)	第56回 飛行機シンポジウム	山形市	日本航空技術協 会	空気力学, 材料, 構造, 機器・電子 情報システ ム, 飛行力 学, 生産技 術, 航空機 設計, 特殊 航空機, 回 転翼航空 機, 航空機 運航・整備, 原動機・推 進, 航空交 通管理の 12部門委 員会	66巻5号 会告3頁参照
2018年11月 22日(木)	2018年 8月31日(金)	2018年 10月19日(金)	日本航空宇宙学会 西部支部講演会 (2018)	福岡市		西部支部	66巻6号 会告6頁参照
2018年11月 24日(土)	2018年 9月14日(金)	2018年 10月12日(金)	第55回日本航空宇宙学 会中部・関西支部合同 秋期大会	名古屋市	(予定)名城大学	中部支部 関西支部	66巻8号 会告6頁参照
2018年12月 1日(土)	2018年 8月27日(月)	2018年 10月1日(月)	第24回スカイスポーツ シンポジウム	東京都	日本航空協会	スカイスポ ーツ委員会	66巻6号 会告8頁参照

開催予定 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2019年3月 6日(水)～ 8日(金)	2018年 10月19日(金)	2018年 12月19日(水)	第59回航空原動機・ 宇宙推進講演会	岐阜市	(予定)日本機械 学会,日本ガス タービン学会, 日本航空技術協 会	原 動 機・推 進部門委員 会 電 気 推 進・ 先端推進部 門委員会	66巻8号 会告5頁参照
2019年6月 15日(土)～ 21日(金)	2018年 10月31日(水)		第32回宇宙技術およ び科学の国際シンポ ジウム(32nd ISTS)	福井市		第 32 回 ISTS 組 織 委員会	66巻6号 表4頁参照

会員数 (平成30年6月現在)

資格	正会員	学生 会員	名誉 会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)
6月会員数	3220	1050	51	0	61
5月会員数	3261	999	52	0	61
差 引 増 減	-41	51	-1	0	0

新入会員名簿正会員 (敬称略)

菊地耕一 (宇宙航空研究開発機構), 田中悠太郎 (三菱電機(株)), 永井希依彦 (帝京大学), 菊地正子 (有人宇宙システム(株)), 相良由里子 (中村合同特許法律事務所), Edyta Dzieminska (上智大学), 岩渕泰晶 (宇宙航空研究開発機構), 楠本維大 (楠本法律事務所), 村山裕三 (同志社大学), 細沼貴之 (東京大学), 川井 翼 (防衛装備庁), 南 廣大 (防衛装備庁), 栗山育子 (宇宙航空研究開発機構), 竹内 悠 (宇宙航空研究開発機構), 山崎拓人 (金沢工業大学), 仙田裕紀 (新明和工業(株)), 坂本香子 (宇宙航空研究開発機構), 相原素樹 (宇宙航空研究開発機構), 大久保倫子 (宇宙航空研究開発機構), 佐藤雅彦 (宇宙航空研究開発機構), 吉富由稀 (宇宙航空研究開発機構), 青木節子 (慶應義塾大学), 小山田裕彦 (柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)), 落合美佳 (宇宙航空研究開発機構)

新入会員名簿学生会員 (敬称略)

松葉稔弘 (名古屋大学 院), 中村健二郎 (首都大学東京), 井上直樹 (横浜国立大学), 森下貴都 (東京大学 院), 高橋 彬 (東京大学 院), Bastian Van Loo (東京大学 院), 井上陽晴 (東京工業大学), 池田 凌 (九州大学 院), 白

濱厚志 (九州大学), 大本圭祐 (東京工業大学), 飯島 亮 (東京工業大学), 飯田輝澄 (大阪府立大学), 石塚優太 (東海大学), 長谷波秀一 (北里大学 院), 名座広一 (創価大学), Ali Yousefian (九州大学), 種市順平 (東京大学 院), 能崎航太郎 (筑波大学), 田中混也 (金沢工業大学 院), 西山真悟 (防衛大学校), ヘレル ショーン 諒 (室蘭工業大学 院), 浅木恭介 (九州大学 院), 三橋悠一郎 (千葉工業大学 院), 興相春花 (熊本大学), 竹原 満 (熊本大学), 中山龍生 (熊本大学), 佐藤涼太 (東海大学), 小川 優 (横浜国立大学 院), 上村史門 (東京理科大学), 鳥井健笑 (東京工業大学), 高瀬諒一 (東京大学 院), Hoang Xuan Truong An (名古屋大学 院), 山本 慧 (京都大学 院), 間宮悠貴 (岐阜大学 院), 西垣孝司 (岐阜大学 院), 坂本克也 (東京大学 院), Goral Giulio (東京大学 院), 岸里大輝 (東海大学 院), 伊藤司聖 (早稲田大学), 大平元希 (総合研究大学院大学), Abhas Maskey (九州工業大学), 清水裕二 (東京大学 院), 飯村 理 (金沢工業大学), 大里智樹 (名古屋大学 院), 瀧本浩之 (横浜国立大学 院), 土屋光慶 (横浜国立大学), 宇崎友規 (九州工業大学 院), 徳永 輝 (東北大学 院), 太田恭平 (名古屋大学 院), 加藤泰輝 (東海大学), 三浦 航 (室蘭工業大学 院), 吉野拓郎 (九州工業大学), 吉川貴広 (東海大学 院), 大山尚悟 (東北大学), 浅沼祐輝 (早稲田大学), 永山逸郎 (早稲田大学), 塩月智博 (早稲田大学 院), 神谷 拓 (早稲田大学 院), 高木麻理子 (九州大学), 松野瑛斗 (金沢工業大学), 井上孝輝 (東海大学), 王 瀚緯 (九州工業大学), 森 直紀 (東京大学)

日本航空宇宙学会 北部支部

第21回「Lifting-Off Young Birds」学生の航空宇宙関連活動に関する支援事業  
採択結果発表

日本航空宇宙学会北部支部では、「第21回 Lifting-Off Young Birds」の募集におきまして、以下のプロジェクトの採択を決定致しましたのでご報告します。

代表者：川合 柊平 (室蘭工業大学 学生宇宙研究開発機構 SARD)

プロジェクト名：Hybrid Rocket Project

重要

## 平成 30 年度 一般社団法人日本航空宇宙学会 代議員選挙告示

平成 30 年 8 月 5 日  
第 50 期 選挙管理委員会

向秋の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本航空宇宙学会は、一般社団法人としての代議員選挙を行います。正会員を代表する代議員（概ね正会員 50 人に一人の割合。現状では 60 名）が法人の“社員”となります。社員は、定款の変更や理事及び監事の選任又は解任などを決める法人の最高意思決定機関である社員総会（法定の機関）の構成員であり、非常に重要な役割を担っております。

代議員の選出に関しては、代議員選挙を実施するための第 50 期選挙管理委員会（委員長：齊藤 茂、委員：平本 隆、穂積弘毅）が理事会の指名により本年 5 月に発足しました。

代議員選挙では、就任年度の 4 月 2 日時点で 60 歳未満の正会員からの立候補、並びに、推薦された者（5 名以上の推薦人が必要）も候補者名簿に記載されます。希望する方は、所定の立候補用紙または推薦用紙により（用紙は事務局へお申し出下さい。）選挙管理委員会（宛先は学会事務局）まで、平成 30 年 9 月 10 日（月）必着でご提出下さい。なお、代議員は 2 期を越えて重任することはできません。その他、立候補に関する条件などは選挙管理委員会にお問い合わせ下さい（senkan50@jsass.or.jp）。

代議員は本会の正会員（学生会員は含まない）の直接選挙によって選出します。平成 30 年 10 月中旬に投票用紙を各正会員に郵送します。投票は、原則郵送により行います。投票の締切日時は平成 30 年 12 月 3 日（月）17 時 30 分（学会事務局必着）です。代議員選挙の重要性を認識し、多くの会員が積極的に投票されることを期待します。また、投票に当たり、特定の団体や分野に偏ることなく、本会の発展に寄与して代議員に相応しいと判断される方など、広い視野から選んで下さいますようお願いいたします。

次期代議員ならびに筆頭副会長候補者、理事および監事候補者の選出はおおよそ以下の日程により行なわれます。

- |          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| 10 月中旬   | 代議員選挙投票開始                            |
| 12 月 3 日 | 代議員選挙投票締め切り                          |
| 12 月中旬   | 代議員当選者決定                             |
| 1 月中旬迄   | 第 1 回筆頭副会長候補者選挙（上位 3 名を第 2 回の候補者とする） |
| 1 月下旬迄   | 第 2 回筆頭副会長候補者選挙（筆頭副会長候補者決定）          |
| 3 月上旬迄   | 理事及び監事候補者の選挙                         |
| 4 月      | 定時社員総会で、理事及び監事を選任                    |
| 4 月      | 理事会で、会長、筆頭副会長、副会長、筆頭庶務理事を選出          |

代議員選挙の締め切り日は、

**12 月 3 日（月）17 時 30 分です。**

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

---

## 平成30年度「空の日・宇宙の日」記念特別講演会

「空の日・宇宙の日」の記念行事の一環として特別講演会を開催します。

講演1では、ホンダにおける航空機エンジンの開発の歴史と苦労話、事業化に至った経緯、Honda Jet に搭載されている小型ターボファンエンジン「HF120エンジン」の特徴について紹介します。

講演2では、今注目が集まっている小型ロケットによる宇宙開発利用の産業化に関連し、今年打上げ実証実験を行ったSS-520-5号機計画の概要についてお話しします。宇宙科学研究所が取り組む次世代向けの技術開発の一例として、民生部品実装を行った宇宙機開発とその成果、そして今後の科学研究への展開などについて紹介します。

演題&講師：

講演1 「ホンダにおける航空機エンジン開発への挑戦」

株式会社本田技術研究所 執行役員

航空機エンジンR&Dセンター担当

輪嶋 善彦 氏

講演2 「民生部品の軌道上実証を目指したSS-520-5号機による  
超小型衛星の軌道投入実験の成果」

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

宇宙飛翔工学研究系 准教授

羽生 宏人 氏

日 時：平成30年 9月11日（火） 開場18：00 講演会18：20～20：00

会 場：航空会館 7階 大ホール（東京都港区新橋 1-18-1）

<http://kokukaikan.com/about/access>

【交通案内】(1) JR新橋駅 日比谷口 徒歩5分

(2) 地下鉄 東京メトロ銀座線・都営浅草線 新橋駅 ⑦出口 徒歩5分

(3) 地下鉄 都営三田線 内幸町駅 A2出口 徒歩30秒

参加費：無料

定 員：200名（事前申し込み制、申込み先着順により定員になり次第締め切ります。）

講演会名（「空の日・宇宙の日」記念特別講演会）及び参加予定者の氏名（フリガナ）を記して、メール又はFAXでお申し込みください。席に余裕のある場合は当日入場も可能です。

申 込 先：一般財団法人 日本航空協会 文化情報室

メール：bunka@aero.or.jp ファックス：03-3503-1375

共 催：日本航空宇宙学会、日本航空技術協会、日本航空協会

問合せ先：日本航空宇宙学会事務局 電話：03-6262-5313

**【昨年度より、事前申し込み制にしております。ご注意ください。】**

---

## 第 59 回 航空原動機・宇宙推進講演会 講演募集

- 主催** : 日本航空宇宙学会
- 共催** : 日本機械学会, 日本ガスタービン学会,  
日本航空技術協会 (以上予定)
- 企画** : 原動機・推進部門委員会,  
電気推進・先端推進部門委員会
- 開催日** : 平成 31 年 3 月 6 日(水)~8 日(金)
- 講演会場** : 岐阜県岐阜市 長良川国際会議場  
( <http://www.g-ncc.jp> )

**開催趣旨** : 本講演会は, 航空及び宇宙関係の推進技術に関する国内最大の講演会として回を重ね, 我が国の航空・宇宙推進技術の発展に寄与してまいりました。アジア地域における関連分野の交流が広がり、深まりを増すのに応え, 近年は日本・韓国・中国の連合講演会 "Asian Joint Conference on Propulsion and Power : AJCPP" を隔年で開催しておりますが, 今回お知らせする第 59 回講演会は日本単独での開催となります。年度末でお忙しいこととは存じますが, 多くの方にご参加いただければ幸いです。尚, 次の AJCPP は 2020 年に AJCPP2020 として韓国(仁川・松島国際都市)にて開催予定です。

**講演内容** : 航空原動機ならびに宇宙推進に関する分野はもとより, 推進関連の基礎と応用を含めた広い分野からの応募を期待致します。今回は次のようなセッションを計画しています。

- (1) 航空機用エンジン
- (2) 極超音速推進 (ラム,スクラム,予冷ターボ)
- (3) 化学ロケット (液体,固体,ハイブリッド)
- (4) 電気推進・先端推進
- (5) マイクロ推進
- (6) パルスデトネーション
- (7) エネルギー利用
- (8) 流体・伝熱技術 (ターボ機械,ノズル)
- (9) 燃焼技術 (燃焼器)
- (10)材料・構造技術
- (11)計測・制御技術
- (12)試験設備・運用・保守・信頼性
- (13)一般

なお, 講演分野はプログラム編成の都合上, ご希望の分野以外に変更させて頂くことがあります。

**申込方法** : 日本航空宇宙学会ホームページよりお

申し込みください。原動機・推進部門ホームページ ( <http://www.jsass.or.jp/propcom> ) からもアクセスできます。ホームページをごらんいただけない場合は, E-mail にて [propcomm@jsass.or.jp](mailto:propcomm@jsass.or.jp) までお問い合わせください。

**申込締切** : 平成 30 年 10 月 19 日

**審査** : 講演申込書は当委員会で審査後, 11 月 9 日までに申し込み受理通知を E-mail または FAX にて返信いたします。この期日までに受理通知が無い場合は, 申し込みが受付されておられませんので, 11 月 16 日までに [propcomm@jsass.or.jp](mailto:propcomm@jsass.or.jp) までお問い合わせください。

**講演集** : アブストラクト集(A4 冊子)と講演論文集(CD-ROM)を発刊します。原稿執筆要項は講演会ホームページをご覧ください。講演論文集に収録された著作物の著作権は, 原則として, 学会に帰属するものとします。

**原稿提出方法** : 日本航空宇宙学会ホームページの入稿システムより, PDF ファイルを電子投稿して下さい。不都合がある場合 [propcomm@jsass.or.jp](mailto:propcomm@jsass.or.jp) までお問い合わせください。

**原稿締切** : 平成 30 年 12 月 19 日

**講演時間** : 1 題につき 20 分 (討論 5 分を含む)

**参加登録料** ※ :

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| ・会員・共催会員     | 10,000 円 (12,000 円) |
| ・一般          | 15,000 円 (17,000 円) |
| ・学生会員・学生共催会員 | 4,000 円 (5,000 円)   |
| ・一般学生        | 6,000 円 (7,000 円)   |

※事前参加登録時, 及び当日登録時(括弧内)の料金。アブストラクト集, CD-ROM講演集の料金を含みます。

**学生賞** : 学生による講演から複数件を後日「学生賞」として表彰いたします。審査対象としてエントリーを希望される方は, 申し込みの際の備考記入欄に「学生賞審査希望」と明記ください。

**備考** : 会期中に特別講演, オーガナイズドセッションおよび見学会(講演会とは別に参加費が必要です), 講演会第 1 日目終了後には懇親会(講演会とは別に参加費が必要です)を予定しております。講演会の詳細, 見学会に関しては学会誌 1 月号又は 2 月号に掲載いたします。

## 関西支部 第468回航空宇宙懇談会

主催：日本航空宇宙学会関西支部

日時：平成30年9月14日(金) 15:00～17:00

会場：神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学大学院工学研究科本館 5W-301教室

交通アクセス、構内地図は下記URLをご覧ください。  
<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai2.html>

講演

- 1：「超低高度衛星技術試験機「つばめ」  
(SLATS)の開発と運用状況」

超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)は2017年12月23日に種子島宇宙センターよりH-2Aロケットにて打上げられた。SLATSは高度640km×450kmの楕円軌道に投入された後、初期チェックアウトを経て、現在、超低高度軌道(高度270kmの円軌道)に向けて軌道遷移を行っている。本講演では、SLATSの開発結果や運用状況について、軌道上から撮影された地球観測画像も交えて紹介する。

宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門

今村 俊介 氏

- 2：「超低高度衛星の希薄空力解析および空気吸込式推進を目指したインテーク検討」

超低高度宇宙環境のフロンティアを開拓する試みとして、超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)が昨年打ち上げられた。SLATSの高度保持フェーズでは、非常に希薄ではあるが高層大気の抵抗を受けるため、高精度に空気抗力を予測することが重要である。JAXAでは数値解析と極超音速希薄風洞(HRWT)試験によってSLATS軌道制御用の空力データベースを開発した。本講演では、SLATSの空力データベース開発を紹介するとともに、SLATS後継機として検討されている空気吸込式推進用インテーク検討について紹介する。

宇宙航空研究開発機構 研究開発部門

小澤 宇志 氏

参加費：無料

\*参加は会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝えください。

参加登録：会場の準備の都合上、参加ご希望の方は、

①氏名、②所属、③役職を9月7日(金)までに下記事務局までご連絡ください。

問合先：〒658-0027 神戸市東灘区青木1-1-1

新明和工業株式会社 航空機事業部内

日本航空宇宙学会 H30 年度関西支部事務局

<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>

TEL：078-412-9159 (柿本)

E-mail：[jsass.kansai2018@shinmaywa.co.jp](mailto:jsass.kansai2018@shinmaywa.co.jp)

## 第55回日本航空宇宙学会中部・関西支部合同秋期大会 講演募集

主催：日本航空宇宙学会

中部支部・関西支部

共催(予定)：名城大学

開催日：平成30年11月24日(土)

会場：名城大学ナゴヤドーム前キャンパス

〒461-0048 名古屋市中区東区矢田南4-102-9

TEL:052-832-1151

URL：<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/dome.html>

講演申込締切：平成30年9月14日(金)

講演原稿締切：平成30年10月12日(金)

講演原稿頁数：A4サイズ、2～4ページ

講演原稿提出要領：PDFファイル

(詳細は後日講演者に連絡致します)

講演時間：20分(討論を含む)を予定

申込方法：「第55回中部・関西支部合同秋期大会」と標記し、

以下の(1)～(5)を明記し、極力E-mailにてお申込み下さい。郵送応募も可とします。(締切日必着)

講演題目

(1) 講演者氏名(連名の場合講演者の前に“○”印、発表者かつ主著者が学生の場合は学生賞の対象となりますので、氏名の後に“(学生)”とご記入下さい)

(2) 所属(会社名または機関名、所属部課名、住所、電話、FAX、E-mail アドレス、講演者と連絡者が異なる場合には連絡者の所属情報)

(3) 使用機器(PCはご持参下さい。以下は会場にて準備いたしますので使用可能です。)

・マイク ・PC画面を投影するプロジェクタ

(4) 講演概要(100字程度)

申込先：〒480-0293 愛知県西春日井郡豊山町 豊場1

三菱重工株式会社航空機技術部 将来機設計課

日本航空宇宙学会

第55回中部・関西支部合同秋期大会

事務局 今井田 卓 TEL:0568-28-6716

E-mail：[takashi\\_imaide@mhi.co.jp](mailto:takashi_imaide@mhi.co.jp)

## 【有料会告】

### 名古屋大学未来材料・システム研究所 システム創成部門教員公募

名古屋大学未来材料・システム研究所の研究活動をさらに発展させる意欲ある人材を求めて、システム創成部門教授1名の公募を行います。

当研究所は、文部科学省から「革新的省エネルギーのための材料とシステム研究共同利用・共同研究拠点」として認定され、省エネルギー技術を主テーマとした研究を幅広く推進しています。

このような研究活動を強力に推進するため、システム創成部門では、地球規模あるいは地域規模において、持続可能でかつ環境調和型のエネルギー変換・インフラ・ネットワークや物質変換・物質循環に関する様々な要素技術開発とともに、それらを高度にネットワーク化させ社会に実装するための方法論の構築を目指しています。また、そのために必要となる高度なエネルギー変換技術・システム、省資源・省エネルギーに資する環境負荷低減技術、リサイクル技術や物質循環再生システムの開発、エネルギーインフラの計画・制御技術の構築とそのため不可欠となるエネルギー・情報・物流に関する高度な情報ネットワーク技術に関する最先端の研究も推進しています。

#### 公募する研究領域

持続可能な環境調和型エネルギー創成社会を実現するために、省エネルギー技術、サステナブル技術の構築を目指した研究に取り組むことのできる意欲ある人材を募集します。省エネルギーデバイスに役立つ新規材料、高効率で先進的なエネルギー変換システムに役立つ熱流体技術、省エネルギーに資する環境負荷低減技術、エネルギーインフラの計画・制御技術等、基盤となる工学分野の学理、技術に立脚し、エネルギーを有効活用し、持続性ある社会実現のための研究開発を遂行でき、さらには、工学部機械・航空宇宙工学科、大学院工学研究科航空宇宙工学専攻と連携して教育研究に取り組める人材を募集します。

1. 募集人員 教授1名
2. 所属 未来材料・システム研究所システム創成部門（工学研究科航空宇宙工学専攻構造・創製講座兼任）
3. 任期 なし（研究プロジェクト期間は5～10年以内）
4. 応募資格
  - ①博士の学位を有すること。
  - ②応募者の専門性が公募する研究領域と整合すること。
  - ③自身の専門分野を中心にしながら所内外プロジェクトでの共同研究が可能なこと。
  - ④工学部機械・航空宇宙工学科に関連した講義と研究指導等を担当し、工学研究科航空宇宙工学専攻において大学院博士（前・後期）課程の講義及び研究指導を担当できること。
5. 着任時期 平成31年4月1日以降のできるだけ早い時期
6. 提出書類
  - ①履歴書（書式自由、写真貼付、電子メールアドレスを含む連絡先を記載）
  - ②研究業績リスト（i）査読付原著論文、ii）国際会議、iii）総説・解説、iv）著書、v）招待講演、vi）特許、受賞等）およびその他（研究費獲得実績（代表のみ）、学会活動、社会貢献等）に分類して記載し、応募者名には下線を付すこと。）
  - ③主な論文 10編以内の別刷り（業績リストに※印を付すこと。）
  - ④これまでの研究の概要（任意形式でA4用紙4枚以内）
  - ⑤着任後の研究プロジェクト課題名とその研究計画（任意形式でA4用紙3枚以内、研究プロジェクト任期は5～10年以内）
  - ⑥教育に関する抱負（A4用紙1～2枚）
  - ⑦所見を求めうる方（3名、1名は海外の方）の氏名、所属、連絡先
7. 応募締切 平成30年8月31日（金）17:00必着
8. 書類送付先  
〒464-8603 名古屋市千種区不老町F3-8 研究所共同館II 7階  
名古屋大学 未来材料・システム研究所 所長 岩田 聡 宛  
※書留で「システム創成部門教員応募書類在中」と朱書きのこと。応募書類はプリントアウトしたもの1部およびそれをPDF形式のファイルにしてUSBメモリに格納して提出すること。  
※応募書類は選考の目的にのみ使用し、それ以外には使用いたしません。応募書類は返却致しませんので御了承下さい。
9. 問い合わせ先  
名古屋大学 未来材料・システム研究所 システム創成部門 部門長 加藤 文佳  
電子メール tkato\*@nuee.nagoya-u.ac.jp （メールを送る際は@前後の\*を削除してください。）  
電話/FAX 052-789-5373 住所 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学内  
研究所の詳細は <http://www.imass.nagoya-u.ac.jp> 参照

なお、本学の定年は満65歳です。また、本公募では、研究業績、教育業績、社会貢献等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用致します。

## 【有料会告】

### 東北大学教員公募

工学研究科航空宇宙工学専攻では教授職の教員 1 名を公募いたします。

応募者は採用された場合、当専攻内の航空システム講座に所属する予定です。現在、航空システム講座では計算空気力学、実験空気力学、材料・構造スマートシステム学といった研究が行われておりますが、さらに空力設計学、計算科学、複雑流体システムといった機械工学の研究分野に豊富な経験と関心をお持ちの方を求めています。

機械系の 4 専攻（機械機能創成、ファインメカニクス、ロボティクス、航空宇宙工学）は現在教授 23 名、准教授 24 名を有し、機能システム学、エネルギー学、材料メカニクス、ナノメカニクス、バイオメカニクス、ロボットシステム、ナノシステム、航空システム、宇宙システムの領域及びそれらの融合した新領域における研究に重点をおいた組織です。航空宇宙工学専攻では、機械系の 4 専攻の教員との連携のもとまたは単独で先進的な研究プロジェクトを推進できるような方を望んでいます。

採用された方には学部及び大学院における教育と修士論文、博士論文に集約される研究の指導をお願いすることになります。

博士号を有することが採用の前提条件になります。また、採用者は国立大学法人教員としての処遇を受けます。国籍は特に問いません。

東北大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。子育て支援の詳細等、男女共同参画の取り組みについては下記の URL をご覧ください。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo>

2018 年 9 月 28 日を締切日としますが、選考は適任者が見つかるまで続きます。したがって締切日を過ぎても応募を受け付ける場合があります。

当方の希望する着任時期は 2019 年 4 月 1 日です。

応募者は、次の資料を下記の宛先までお送り下さい。

- (1) 研究業績リスト、研究歴を含む履歴書
- (2) 教育と研究に関する抱負
- (3) 主な論文 5 編のコピー
- (4) 本人の能力、人柄を評価できる 5 名の名前、住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス

宛先：〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01

東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻 専攻長 岡部朋永

E-mail : [okabe@plum.mech.tohoku.ac.jp](mailto:okabe@plum.mech.tohoku.ac.jp)、電話 : 022-795-6984

(封筒表面には「教員公募書類」と朱筆し、簡易書留で郵送または持参するか、あるいは件名を「教員公募書類」とし、電子メールで送付してください。なお、応募書類は返却いたしません。)

以上



## 【有料会告】

### 大阪府立大学 航空宇宙海洋系専攻 航空宇宙工学分野 助教公募

#### 1. 募集人員

助教(テニュアトラック助教) 1名

#### 2. 専門分野

航空宇宙工学、機械工学に関連する構造工学、振動工学。さらに、本学「小型宇宙機システム研究センター」と連携し、小型衛星の研究開発等に携われる方。

#### 3. 主な教育担当

<工学域> 機械系学類 航空宇宙工学課程、 <工学研究科> 航空宇宙海洋系専攻 航空宇宙工学分野

#### 4. 担当授業科目(予定)

航空宇宙工学実験、航空宇宙工学演習、航空宇宙海洋系特別演習第一・第二、航空宇宙海洋系特別研究第一・第二など

#### 5. 所属

学術研究院 第3学系群 航空宇宙海洋系

#### 6. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する者、または2019年3月31日時点で取得見込みの者
- (2) 2019年3月31日時点で、学位取得後10年以内の者
- (3) 教育・研究を遂行するための日本語能力を有する者
- (4) 学校教育法第9条に規定する欠格事項に該当しない者

#### 7. 提出書類

- (1) 履歴書(本学工学研究科専用の履歴書様式(様式1)により作成)†
- (2) 研究業績等(本学工学研究科専用の研究業績様式(様式2)により作成)†
- (3) 主要著書または論文5編以内の別刷(コピー可)
- (4) 提出した著書または論文の概要(各400字程度、様式不問)
- (5) これまでの研究概要(A4判1頁以内、様式不問)
- (6) 今後の教育と研究に関する抱負(教育と研究に関し、それぞれA4判1頁以内、様式不問)
- (7) 「社会貢献」と「大学運営」に関する今後の抱負(A4判1頁以内、様式不問)
- (8) 自己アピール(A4判1頁以内、様式不問)
- (9) 推薦書2通、もしくは問合せのできる方2名の氏名と連絡先

提出書類はすべてA4判とし、各書類に氏名を記入してください。なお、提出書類は返却しません。

†<http://www.osakafu-u.ac.jp/corporation/recruit/faculty/format/>(工学研究科専用様式)よりダウンロードしてください。

#### 8. 提出期限

2018年9月21日(金)(必着)

#### 9. 選考

年齢・経歴に応じた業績及び将来性等について書類審査を行い、必要に応じて面接及びプレゼンテーションによる審査を行います。選考結果については、2019年1月頃までに通知する予定です。なお、面接及びプレゼンテーションに必要な旅費等は応募者の負担とします。

#### 10. 任期

5年。今回採用されるテニュアトラック教員は、5年目の最終審査で適格と認められた場合、大阪府立大学の専任の准教授または講師として採用されます。なお、当該最終審査で適格と認められなかった場合は、3年を限度とするセーフティネット雇用制度が準備されています。<http://www.osakafu-u.ac.jp/affiliate/active/tenuretrack/>を参照ください。

#### 11. 採用

2019年4月1日(月)(予定)

#### 12. 給与・勤務条件等

公立大学法人大阪の新制度が適用される予定です。(現在準備中)

勤務地は大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(大阪府堺市中央区学園町1番1号)となります。

#### 13. 書類提出先

大阪府立大学総務部人事課 〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1番1号

※封筒の表に「工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 航空宇宙工学分野 テニュアトラック助教 応募書類在中」と朱書きし、必ず「書留」で郵送してください。

#### 14. 問合せ先

(専門分野関係)大阪府立大学大学院工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 航空宇宙工学分野 分野主任 新井 隆景

電話:072-254-9236(直通)、FAX:072-254-9906、Email:arai<at>aero.osakafu-u.ac.jp

(募集全般)大阪府立大学 総務部人事課 電話:072-254-9105(直通)、Email:faculty-recruit<at>ml.osakafu-u.ac.jp

#### 15. 特記事項

公立大学法人大阪府立大学は、2019年4月に公立大学法人大阪市立大学と法人統合され、新たな法人として公立大学法人大阪が設立される予定です。また、現在、大阪府立大学と大阪市立大学との統合による新大学の実現を目指して準備を進めています。そのため、所属、担当授業科目及び勤務条件等について変更になる可能性がありますので、あらかじめ、ご承知の上で応募くださるようお願いいたします。本学は女性研究者支援を推進しており、女性研究者の積極的な応募を期待します。

# 本会共催・協賛・後援行事

## 第4回材料WEEK

主催：日本材料学会

協賛(予定)：安全工学会、応用物理学会、化学工学会、火薬学会、軽金属学会、高分子学会、日本色彩学会、資源・素材学会、自動車技術会、触媒学会、地盤工学会、精密工学会、石油学会、繊維学会、炭素材料学会、電気学会、電気化学会、電子情報通信学会、土木学会、日本化学会、日本火災学会、日本機械学会、日本金属学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本高圧力学会、日本コンクリート工学会、日本材料科学会、日本材料強度学会、日本実験力学会、日本真空学会、日本信頼性学会、スマートプロセス学会、日本設計工学会、日本接着学会、日本船舶海洋工学会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、日本バイオマテリアル学会、日本複合材料学会、日本分析化学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本木材学会、日本リスク研究学会、日本レオロジー学会、腐食防食学会、紛体工学会、プラスチック成形加工学会、プレストレストコンクリート工

学会、無機マテリアル学会、溶接学会 他

開催日：2018年10月16日(火)～19日(金)

会場：京都テルサ(京都市南区)

参加費(会員は協賛学協会会員を含む)：

【材料シンポジウム】会員5,000円、非会員5,000円、学生会員2,000円、学生非会員2,000円

【第34回疲労シンポジウム】会員8,000円、非会員10,000円、学生会員4,000円、学生非会員5,000円

【第15回フラクトグラフィシンポジウム】会員8,000円、非会員12,000円、学生会員2,000円、学生非会員4,000円

【第2回EBSD法による損傷評価講習会】会員10,000円、非会員20,000円、学生会員5,000円、学生非会員10,000円

【第33回初心者のための疲労設計講習会】会員15,000円、非会員26,000円、学生会員2,000円、学生非会員5,000円

## 第27回微粒化シンポジウム

主催：日本液体微粒化学会、日本エネルギー学会

協賛(予定)：ILASS-Korea、エネルギー・

資源学会、応用物理学会、化学工学会、可視化情報学会、自動車技術会、静電気学会、石油学会、日本画像学会、日本ウォータージェット学会、日本エアゾル学会、日本化学会、日本ガスタービン学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本混相流学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本伝熱学会、日本燃焼学会、日本農作業学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本薬学会、日本流体力学会、農業食料工学会、農業施設学会、農業農村工学会、紛体工学会 他

開催日：2018年12月17日(月)、18日(火)  
会場：岡山大学創立五十周年記念館(岡山市北区)

講演申込締切：2018年8月31日(金)

論文原稿締切：2018年10月22日(月)

参加費：会員(協賛学協会会員を含む)(事前申込)6,000円、非会員11,000円、学生3,000円

事前申込方法：<http://www.ilass-japan.gr.jp>より。

参加担当事務局：第27回微粒化シンポジウム参加担当幹事(河原伸幸)

TEL:086-251-8235

E-mail:kawahara@okayama-u.ac.jp

# 32nd ISTS 福井大会

## 第 32 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム



# Call for Papers

主催：第 32 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム組織委員会・一般社団法人日本航空宇宙学会  
共催：Nano-Satellite Symposium Organizing Committee (NSAT)  
特別協力：福井県・福井市  
後援：内閣府宇宙開発戦略推進事務局・総務省・文部科学省・経済産業省・国土交通省・宇宙航空研究開発機構 ほか  
協賛：日本ロケット協会・日本航空宇宙工業会・電子情報通信学会・日本機械学会 ほか  
開催日：2019年6月15日(土)～6月21日(金)  
会場：AOSSA <http://www.aossa.jp/access/> ハピリンホール(予定) <http://nigiwai.ftmo.co.jp/>

## メインテーマ：“Fly like a Phoenix to Space”

特別セッション 1) World Space Activities  
2) Summary of the 2nd International Space Exploration Forum (ISEF2), 2018

オーガナイズドセッション

- 1) Launch Vehicles Today and Tomorrow from Nano to Heavy
- 2) Active Private Sectors in Space Development
- 3) Big Discoveries by Small Bodies Exploration
- 4) Young-ISEF Follow-on

テクニカルセッション

※ f)セッションは Nano-Satellite Symposium のジョイントセッションとして実施いたします。

- |                   |                                    |
|-------------------|------------------------------------|
| a)化学推進及び空気吸込式エンジン | m)観測ロケットと大気球、及び、<br>それらを利用したフライト試験 |
| b)電気及び先端推進        | n)地球観測                             |
| c)構造及び材料          | p)宇宙生命科学                           |
| d)軌道力学、航法、誘導及び制御  | q)宇宙電力システム                         |
| e)流体力学及び熱空気力学     | r)宇宙環境とスペースデブリ                     |
| f)小型衛星            | s)学生セッション                          |
| g)宇宙輸送系           | t)システムエンジニアリングと情報技術                |
| h)微小重力を利用した科学と技術  | u)全ての人のための宇宙教育・アウトリー活動             |
| i)熱制御             | v)宇宙法、宇宙政策及び国際協力                   |
| j)衛星通信、衛星放送及び衛星航法 | w)安全及びミッション保証                      |
| k)太陽系探査の科学と技術     |                                    |

参加登録費：	事前登録費	当日登録費
・一般参加者	55,000 円	70,000 円
・学生	10,000 円	20,000 円
・同伴者	5,000 円	5,000 円

アブストラクト 投稿受付開始：2018年9月3日(月)

アブストラクト 投稿締切：2018年10月31日(水)

詳細は ISTS ホームページ：<http://www.ists.or.jp> をご覧ください。

第 32 回 ISTS 組織委員会事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 18 階  
日本コンベンションサービス株式会社(内)

TEL：03-3508-1256 E-mail：secretariat@ists.or.jp